

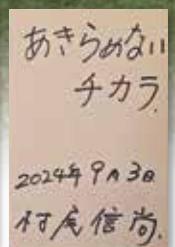
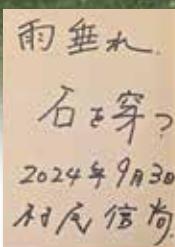
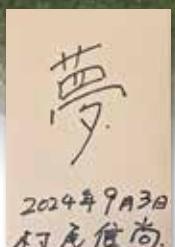


創立110周年 記念号

長野県穂高商業高等学校
征途高志 溫故知新 気高誠実



村尾信尚氏記念講演にて村尾さんに
お書きいただきました



穂高商業高等学校
同窓会様

感謝

2024年9月3日

村尾信尚



大正3年(1914年)創立

2025年2月20日発行

創立110周年記念 ごあいさつ

母校110周年を迎えて



同窓会長 山崎 完好

私は、召田義人前会長が令和4年11月12日交通事故で急逝されましたその後、役員会において会長代行として推挙され、令和5年度定期総会において同窓会長に就任しました山崎完好(40年卒)です。平成26年11月8日「創立100周年記念式典」の開催後、平成28年10月に長野県教育委員会から「学びの改革・基本構想」が発表され、当校と南安曇農業高校及び池田工業高校3校による統合が示されました。同窓会は平成29年9月、第1回「存続を求める会」を開催し、署名活動を進める方向で協議が進み、平成30年4月から署名活動が開始されました。同年10月 13,600余名の署名を携え、「存続を求める要請」を召田同窓会長以下9名の役員が望月雄内県議員の立ち会いの中で、太田寛副知事(現安曇野市長)及び教育長に、また県議会議長に行いました。

令和2年、新型コロナが発生したことにより、同窓会費の集金活動も停止状態となり、このため令和6年度から各支部の体制作りを開始しました。

再編成を進めるための懇話会は、第1回が令和6年1月に開催され、座長に信州大学教育学部宮崎樹夫教授が選出され、構成員として学校からは、校長・教頭・事務局を担当する教員・生徒会正副会長・PTA会長・同窓会長が、市村教育長・副市村長・地域産業界代表などを含め計37名が紹介され、懇話会の趣旨、役割など基本的事項が示されました。

第2回は5月に鳴門教育大学特命教授から、全国先進的5高校の取り組み状況、第3回7月に3校の生徒による学校・学びの紹介が、9月から10月にかけて3校の高校公開授業が行われ、第4回11月に産業界の構成委員から意見を聞き、第5回7年1月構成員から「新校に対する意見」を聴取し、この意見を踏まえ県教育委員会対策(案)を策定し、次回の懇話会に提示し協議を進めることになりました。

今まで懇話会に参加して、特に現在の校舎を含め環境などは非常に劣悪であり、早期に新校の立ち上げが必要と考えております。

令和7年1月22日

祝 創立110周年



校長 三宅 浩一

この令和6年度に長野県穂高商業高等学校同窓会110周年記念事業を行えることができたことを心からお礼を申し上げます。これも同窓会・PTAそして地域の皆様に、日頃より本校の発展のために物心両面から温かいご支援とご協力をいただいているからこそであると感じております。

さて、本校は大正3年、「長野県学校組合立南安北部農学校」として、開校しました。その後、商業科・普通科を開設し、昭和46年に穂高商業高等学校と改名し、現在に至っています。この間、本校で勉学に励んだ15,238名が卒業してきました。校長室には昭和34年から約10年ごとに航空写真が飾られています。校舎の周りは、田んぼしかないところから始まり、現在は住宅や商業施設等々で発展してきた穂高の町を見るたびに多くの先輩方が、産業、経済、政治、文化、教育界等のあらゆる分野で活躍され、長野県安曇野の現在の隆盛の礎を築かれてきたんだなあと長い歴史と伝統を感じているところでございます。

これらの時代は、グローバル化の進展や技術革新が急速に進み、予測が困難な時代と言われています。このような時代においては、よりよい社会や人生を自ら切り拓いていく力が求められています。本校は、校訓「自学、自立、共生」を根幹に据えた学校づくりを推進するとともに、ビジネスを探求し、「地域社会を支えるリーダー」、「産業の発展に寄与できる産業人」の育成を掲げ、教職員が一致団結し、有為な人材育成に精進して参りたいと思っております。

結びに、本110周年記念事業に対しまして、お力添え賜りました皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後も本校に変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げご挨拶といたします。

創立110周年記念事業に寄せて



同窓会顧問 創立110周年記念事業担当 34年卒 會田 友良

母校創立110周年記念事業で「講演会」「ゴルフコンペ」「マレットゴルフ大会」を行い、また最後の事業として、校歌、応援歌の収録を行いました。コロナ禍で途切れてしまった応援歌を在校生、先生方、同窓生の協力の下、穂高商業合唱コンクールに合わせ収録出来たことを喜ばしく思います。クラス別での合唱はよく声が出ていて「ベストを尽くせ」の標語のごとく練習の成果が表れており感動しました。最後に全員で校歌、応援歌を合唱した際には、沢山の思い出が脳裏をよぎり、思わず涙ぐんでしまいました。

在校生の皆さん、母校が統合により、この先どのような方向に進むか分かりませんが、どうか「校歌」「応援歌」を忘れず、事あるごとに口ずさんで下さい。また同窓生の諸兄には、CDを聞いていただき、恩師、クラブの仲間、先輩後輩、校舎などを思い出していただければ幸いです。

創立110周年の思い



生徒会長 小沢 伸二

自然や北アルプスを始め四季の魅力を感じができるこの安曇野にまた一つ歴史が生まれました。2024年をもって穂高商業高校は創立110周年を迎えました。

私は110周年を迎えたこと、穂高生としてこの学校で過ごせたことを誇りに思います。

農業高校から始まり今、商業高校として様々な伝統を語り継がれながら日々、進化をしています。校舎は衰えながらも生徒や先生、保護者、同窓生の皆様は活力に満ち、温かみのある優しさを持つこと忘れてはいません。

しかし、数年後私たちの学校はなくなり統合されます。統合されることに対して様々な考え方や意見がありますが、大事なことはこの学校で学び、多くの時間を過ごし、この学校がここ安曇野市穂高に在ったことを誇りに思うことだと思います。

本日、皆様と穂高商業高校創立110周年をお祝いすること本当に嬉しく思います。

そしてこれからも温かい応援をよろしくお願いします。

創立110周年記念 ゴルフコンペ

真夏の空の下、絶好のゴルフ日和に恵まれました。
朝早くから25名ものゴルフ好きの皆さんのが集まり、
賑やかなゴルフコンペとなりました。



令和6年
8月6日火
あづみ野
カントリークラブ
安曇野市穂高牧2050-1

上位入賞者

1 丸山 一友さん 100

2 二木 憲一さん 93

3 郷津 光二さん 86

BG 百瀬 宏雄さん 85



全員がホールアウトし、記念写真を撮影。
参加者たちは、今日のプレーを振り返しながら、
互いの健闘を称え合いました。



穂高商業高等学校創立110周年記念
同窓会企画 次世代を担う人材を育む取り組み

村尾信尚氏講演会

2024年9月4日(水) 10:30~12:00
安曇野市穂高会館 講堂

主催: 穂高商業高等学校

協力: 同窓会事務局(穂高商業高校内 〒399-8303 安曇野市穂高6839)

9月初旬、残暑が厳しい中、報道番組『news zero』のキャスターを務められた村尾信尚さんをお招きして講演会を開催しました。村尾さんは2018年9月まで12年間キャスターを務められ、番組の顔として広く知られていました。その講演会の内容を一部抜粋して掲載させていただきます。



「若き後輩たちへ」

皆さんこんにちは、村尾信尚です。(拍手)よろしくおねがいします。私は最近、全国各地の高校を回っていて皆さんとこうやってお話をしながら私も学ばせて頂いているんですが、今日、特に印象深いのはこの主催が同窓会の主催ということ。君たちの先輩が主催して、たぶん同窓会の先生、卒業生も聞いているということ。現役と卒業生が一体となって私の話を聞いてくれている。私の話は少し置いておいても、こういう一体感のある中でお話をさせて頂くのは少し緊張もあるんですけども、一方で非常に絆の深い、繋がりの深い穂高商業高校だというふうに思います。

私、年齢は68才なんですね、で、たぶん君たちの何倍も生きている。だから君たちの人生の先輩として君たち若き後輩たちへ私が伝えたいメッセージこれが、これから私が話す主題になります。ですから「明日の日本を考える」というよりは「若き後輩たちへ」という事で話をさせて頂きたいと思います。

私は大学を出てから国家公務員 役人になりました。入ったところは大蔵省と言うところで、今でいうと財務省。その後40才前ぐらいいに三重県の総務部長に行ってくれと言ふことで三重県3年間地方公務員をやりました。三重県で県知事さんが交代するということで役所を飛び出して三重県の知事選挙に打って出たんです。役所でもらった退職金はここだけの話ですが、1480万円になりました。この退職金を持って三重県の知事選挙に出ました。私は生まれも育ちも実は岐阜県、飛騨の高山なんです。三重県はほんとうに友達も親戚も居ない所なので今から考えると、よくあそこで選挙したと思うんですが、モノの見事に負けました。結局 役人から一人の失業者になってしまって退職金もゼロZEROという形になってしまいどうしようかと思っていました。ひょんな事から人と人の繋がりで大阪のよみうりテレビの報道番組にコメントーターとして出て、そのうちに本当に嬉しいことに関西学院大学で私を採ってくれたんです。丁度2006年の夏頃、東京の日本テレビの担当者から呼ばれて「村尾さん若い人が見たり聞いたりして解るニュースを日本テレビも作りたいと思うんですが村尾さん興味ありますか?」と。私は「もちろん興味あります」と。私が選舉に出た1つの大きな理由は君たちのこれからのが非常に心配で、若い人たち

が選舉にも行ってくれない、投票に行かない。危機が迫っているのに若い人たちは政治に興味がない。だったらニュースで若い人たちが関心を持つニュース番組を作つたらどうか。ということで、私はお手伝いをしますよと話をしたんです。すると村尾さんの隣、月曜日の夜は嵐の櫻井翔くんをつけます。それからもうお亡くなりになられましたけれども、小林麻央さんをつけます。こうやって大きな浮舟を村尾さんのまわりにいっぱい付けるんでそれに拘りながらニュースの海へ漕ぎ出して行きましょう。といって始まったのが実はニュースZEROです。今までの私の人生ですが、役人をやったり 政治に出たりキャスターをやったり学校の先生やっているけれども1つ私の信念はやはり、君たち若い人のために良くなるような社会を作りたい。これが自分の中の信念というか心の声なんですね。

私たちの社会というのは右へ行つたり左へ行つたり大きく揺れ動いているわけです。と思うんです。その中でほとんどの若い人たちはどういう行動を取るかというとこの社会の動きに一步か半歩遅れて一生懸命社会の動きに乗っていく。有利な会社を探そうとか有利な分野に就こうとかそういうことを考えるかもしれない。そういうことをやっても社会の動きに追いつく人はまずいない。結局追いつかず苦労して終わってしまっているんじゃないかな。まだ君たちは自分のやりたいことが見つかっていないかもしれない。

だけど君たちは商業高校といつてみれば商業というものに一步ポイントをおいて、その中で自分のやりがい、生きがいを見つけだそうとしている。で、そういう皆さんはたぶん普通の若者よりも目的意識を持っている。やっぱりそこをもう1回自分の心の声を聞いて、いったい自分は何をやりたいか。そういうものをぜひ見つけて欲しい。社会の動きを追っていると、なかなか社会には追い付かないけれども自分の心の声に従って真っすぐ行くと、時にはこういう時期は社会は自分から離れていくますがどこかでまた社会が戻ってきて、ここで君と君の思いと社会の動きが一致する時が必ず来る。そういうことを信じて自分の心を心の声を信じて突き進んでほしい。私はコロナの時に家でマットとローラーで体を動かしていたんですが、そのローラーを持ってきました。これはこういう形で、君たちに質問するんだけども。これは何? 図形とし何ですか? 「円柱」「そうだ正解! 円柱です」これは円柱だけど、じゃあこれを例えれば僕から見るところという風に見える。君たちから見るところ。これ何に見える? これ「丸」「そう丸い円だよね。」じゃあこれを横から見ると何に見える? 「そう長方形。」僕がどうして君たちにこれが円柱に見え、これが丸に見えこれが長方形に見えるかっていうことを聞いたか。12年間メディアについてキャスターをやっていた。で毎日毎日色々な事件が世界から飛び込んでくる。その時にいろんな見方でそのニュースを分析して視聴者に伝えなくちゃいけない。つづく

今回の講演記録全文は
こちらのQRコードから
読むことができます

*穂高商業高校ウェブサイトに
つながります



村尾さんのお話をきいて

2年3組 林 美優さん

本校の110周年記念行事に際し、村尾信尚さんをお迎えし、特別講話をいただきました。村尾さんは、教育に対する深い思いとともに、現代社会についても触れられました。その講話の質問コーナーで心に残った質問があります。それは講話当时骨折していた人が、「周りの人の視線が痛いのですがどうしたらいいですか。」と質問されたとき、村尾さんは、「周りは気にしてないただの自意識過剰ですよ。」とこたえたのです。私も副生徒会長として周囲から見られている気がして、それ違う人々の言葉に敏感になっていました。しかし、村尾さんの話を聞いて、それが自意識過剰だったと気づくことができました。私は、これからは他人の視線に振り回されずに自分に自信をもっていこうと思いました。

2年3組 嶋田 愛璃さん

「若い人のためになる」そんな社会を作りたいという願いのもと活動してきた村尾さんは、若い世代に自分自身のことを信じて活躍して欲しいそんな言葉を残されました。

これからを担う私たちにとって予測不可能な未来は明るいのか暗いのかは、その時にならないとわからないものです。それでも、今自分ができることをできるときに発揮するのが重要だと思います。たくさんの可能性が秘められているのに、その力を発揮しないのは勿体無いと感じます。何かに挑戦することは、誰かに何か言われるかもしれない、失敗するかもしれない、そんな数々の恐怖に立ち向かわなくてはならないのです。それでも、誰かのためになるなら「自信をもってやってみよう」と思えるその気持ちが私たちに求められる社会の姿だと感じました。



懇親会にて



創立110周年記念 マレットゴルフ大会

11月17日の開校記念日にあわせ「マレットゴルフ大会」を開催しました。爽やかな秋晴れの下、各支部より大勢の方が参加し、親睦を深めました。コロナ、猛暑により「ソフトボール大会」が開催されずにおきました。今後は「マレットゴルフ大会」を同窓生の親睦の機会にしていきたいと考えております。



上位入賞者

	男子	女子
1	川上 肇さん	浅川とみ子さん
2	松尾 基さん	
3	百瀬 宏雄さん	



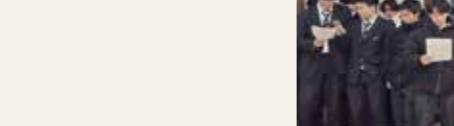
令和6年
11月17日(日)
安曇野市穂高
立足マレットゴルフ場
安曇野市穂高有明6014-1

創立110周年記念 校歌・応援歌 CD録音

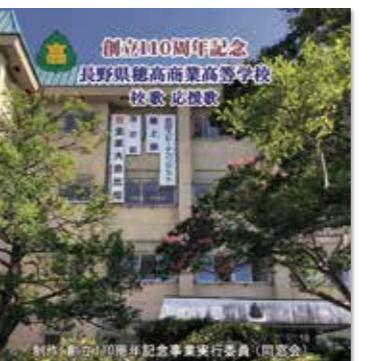
12月13日豊科公民館のホールでの母校「合唱コンクール」において在校生と同窓生による校歌の合唱を録音しました。その後、在校生有志で応援歌を合唱し、CDの制作を行いました。



同窓生の教師のみなさん



校歌・応援歌CD



合唱

- 1.校歌（伴奏つき、アカペラ2曲）
- 2.我等が母校（伴奏つき、アカペラ2曲）
- 3.栄冠常に涙あり
- 4.振え伝統
- 5.朝日直射
- 6.我が選手

※1・2 豊科公民館ホール、3~6校内にて録音

●お問い合わせ
穂高商業高等学校内 同窓会事務局
TEL.0263-82-2162

販売中
¥1,000

穂商の誇り 歌い継ごう

安曇野市穂高の穂高商業高校同窓会は、

今年の学校創立110周年を記念する事業の一環で、校歌・応援歌を収めた「CD」を発売計画している。

在校生に加え、約1万5000人による卒業生の合唱参加を募った。

12月23日、豊科公民館ホールで公開録音を行った。

卒業生が在籍した事前練習への参加も呼び掛けている。

（撮影裏面）

部員学校時代の担任は、

（1940年～1950年）

された校歌といはずして、

も歌詞20年近くにわたり、

たゞあらわせる歌詞4

歌詞を書くため、

と歩む連携の機運

を高める取り組みにな

る」と期待する

が実現する

